

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 12 日

評価対象事業	総務	-	09	人事管理事務				☐ 法定受託事務
所管課	総務部 職員課				評価者	職員課担当課長 中山 秀樹		
一般	会計	款	10	項	5	目	5	
総合計画上の位置付け	分野名	行財政運営			施策の方針名	行財政運営		

1 事業の目的

対象	市職員	意図	多様で有為な人材の確保と適材適所の職員配置に努めるため。
効果	職員一人ひとりの士気の高揚、さらには組織能力の向上を図ることにより、質の高い市民サービスを提供できる組織体制が実現する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度： 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	人事情報管理事務、職務の適正な執行等に関する事務、採用試験等事務、職員資格取得奨励金等報償事務	人事情報管理事務、職務の適正な執行等に関する事務、採用試験等事務、職員資格取得奨励金等報償事務	人事情報管理事務、職務の適正な執行等に関する事務、採用試験等事務、職員資格取得奨励金等報償事務
予算額（千円）	56,637	95,224	
国県支出金			
地方債			
その他	32	32	
一般財源	56,605	95,192	0
当初人員配置数	5.0	6.0	0.0
人件費（千円）	28,373	38,276	0
事業実績	人事情報管理事務、採用試験等事務、職員資格取得奨励金等報償事務		
決算額（千円）	59,671		
国県支出金			
地方債			
その他	34		
一般財源	59,637	0	0
人員配置実績数	5.0	0.0	0.0
人件費（千円）	27,611	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	採用説明会の実施・参加回数	回	12	7	18		
活1	実績につながる活動	多様で有為な人材の確保に向け、採用説明会を実施するとともに、外部の採用説明会に参加した。				-		
活2	指標名	キャリアプランシートの活用	-	1	⇒	1		
	実績につながる活動	職員が自身のキャリアパスを描く一助とするため、キャリアプランシートを活用した。				-		
活3	指標名	1 on 1 ミーティングの実施	-	1	⇒	1		
	実績につながる活動	職員の成長支援、エンゲージメント向上、組織全体のパフォーマンス向上等を図るため、1 on 1 ミーティングを実施した。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・採用試験応募者数を増やすため、採用説明会の実施・参加回数を増やした。 ・従前から実施していた自己申告については、職員が自身のキャリアパスを描く一助とするため、項目を増やすとともに名称をキャリアプランシートに変更して実施した。 ・また、1 on 1 ミーティングについては、前年度から引き続き実施した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	採用試験応募者数	人	907	7	1,317			1
成2	私のキャリアに関して積極的にサポートしてくれる環境であると感じる職員の割合	%	-	7	46.7			1 2 3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・民間企業や国、他自治体の雇用状況、景気や雇用情勢、少子化、職員のキャリアや働き方に対する意識の変化など。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・採用説明会の実施・参加回数の増加や採用試験内容の見直し、積極的な採用プロモーション活動により、採用試験応募者数の増加につながった。 ・令和6年度に導入した人材マネジメントシステムを活用し、職員のキャリア形成支援やエンゲージメント向上に取り組んだ。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・採用試験応募者数の増加により、多様で意欲の高い人材の確保に寄与すると考えられる。 ・また、キャリアプランシートを導入し、職員の希望や適性を把握した上で、人材育成や適材適所の配置に反映することで、キャリア形成支援を受けていると感じる職員の割合の向上に寄与すると考えられる。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り □ 事業内容は見直し済 □ 事業を休止又は廃止済 □ 他事業と統合済	⇒	■ ① 事業内容は現状通りとする □ ② 事業内容は見直す □ ③ 事業は休止又は廃止する □ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ □ 拡大 □ 縮小 □ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	□ 予算規模は現状維持 ■ 予算規模は拡大済 □ 予算規模を縮小済	⇒	■ ⑤ 予算規模は現状維持とする □ ⑥ 予算規模は拡大する □ ⑦ 予算規模は縮小する	
		評価実施翌年度以降の方向性			

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	採用試験の見直しとプロモーション活動の強化により、応募者数の増加につながった。また、キャリアプランシートの活用や1 on 1 ミーティングの実施をとおして、職員のキャリア形成支援や成長支援に取り組んだ。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		制度や運用が自治体によって大きく異なるため、他市との比較は行わない。							